

09

2016-2017
SEPTEMBER

Vol.3

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 9月号



ROTARY
SERVING
HUMANITY

The Ideal of service — ロータリーの根幹精神 —

CONTENTS

- 01 **ガバナーメッセージ**
基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間 ガバナー 松本 進也
- 02 ロータリーの友を読んでみよう ロータリーの友 地区代表委員 一瓢 秀次
- 03 意義ある業績賞について
- 04 国際奉仕委員長会議 報告
- 05 大学等／地区米山奨学委員会 意見交換会プログラム 報告
- 06 RAC地区献血活動 報告
- 07 地区研修・協議会 会計報告
- 08 米国職業訓練チーム (VTT) の来訪報告 千里RC
- 09 地区学友委員会 活動計画
- 10 コーディネーターニュース
- 11 米山記念館便り
- 12 「ロータリーの友」誌 推奨記事のご紹介
- 13 2016年7月 会員数・出席報告
- 14 文庫通信
- 15 お知らせ



ガバナーメッセージ 基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

松本進也

(大阪北RC)



識字率向上月間の制定は、1997-98年度のグレン・W・キンロスRI会長が「貧困からの脱却は識字率の向上にある」とされ、世界のロータリアンに識字率向上運動を強く呼びかけられたことに端を発します。

それでは、ロータリーにおける識字率向上の取り組みの歴史を抜粋してご紹介いたします。

まず、グレンRI会長は「ライトハウス(灯台) 作戦」と名付けた発展途上国の10億人に識字能力向上を推進するキャンペーンを展開されました。

この名称の意味は「灯台が安全な航路を示すように、識字を通じて人々に歩む道を示すこと」でありました。地域の生活水準の向上と、その地域の識字率の向上とは深い関係があるそうです。

また、グレンRI会長は語学教育にCLEプロジェクト(= Concentrated Languages Encounter: 語学力集中研修講座)を用い、識字率と計算力向上タスクフォースを設置しました。このプロジェクトはタイが発祥、今ではタイの全ての国立学校で採用されている他、多くの発展途上国で取り入れられています。

2008-09年 李東建RI会長はRIテーマを「夢をかたちにして〜Make Dreams Real」と策定されました。Dreamsと複数形にしたことがこだわりだそうです。

これは世界の子供たちの「たくさんの」夢を叶える思いの表れではないでしょうか。

世界中の5歳以下の子供たちが毎日3万人死亡している。この死亡率を少しでも低下させる活動に重点を置きましょうというテーマであります。

死亡率を悪化させない術は綺麗な水の確保、識字率の向上、保健と飢餓救済などがあり、その中で、李RI会長は識字率向上と、水・健康・飢餓の諸問題を結合した複合プロジェクトを推進されました。世界の非識字者の3分の2が女性であり、母親となる女性が十分な教育を受けられないために命を落とす子供が一向に減らないという深刻な事態に陥っており、そして残念ながら現在も改善されたとはいえない状況であります。

当方は当時、大阪北RCで会長を拝命しておりましたので、このRI会長テーマは非常に印象的であり、3月が識字率向上月間でありましたので、会長の時間にて識字率向上について話した記憶がございます。

そして、現在、ロータリー財団6重点分野にも基本的教育と識字率の向上が含まれております。

今年がロータリー財団100周年の記念すべき年にあたり、我々は財団活動に更に関心を寄せることが求められています。日本では識字率はほぼ100%であります、世界にはまだ約7億5000万人が読み書きができない事実を目を反らすことなく、取り組むべき問題の一つではないでしょうか。

毎月1度発行される「ロータリーの友」誌は日本各地区の奉仕活動に留まらず、世界各国のロータリアンの活動が「World Roundup」面に記されています。是非、手に取ってご覧頂きたいと存じます。

そして、各クラブの活動も地区広報委員長に申告して頂き、ロータリーの友に第2660地区の記事が毎回掲載されることを目指し、我々「チーム2660」の名を全国に行き渡らせたいと存じます。

今年度が始まって2ヶ月が経過しました。クラブと地区が一体となってロータリー活動を盛り上げて参りましょう。



ロータリーの友を読んでみよう

9月はロータリーの友月間です。「あまり読んだことないな～」という会員の皆さんはこの機会に是非、ロータリーの友を、手にとって、読んでみて下さい。

と申しますのも、私自身も、あまり熱心に読んだことがなかったのですが(スンマセン)、ロータリーの友委員になって、推奨記事を書くために、ロータリーの友を読むようになって、そして発見したことは、「結構、面白いな」(失敬)ということです。

推奨記事にも書かせて頂きましたが、7月号では、

- 「地域医療の取り組み」という記事では、北海道の北端、中頓別町のロータリアンの歯科医が、特別養護老人ホームへの訪問歯科医療について執筆されており、認知症患者に入れ歯を作る話、これから取り組む摂食嚥下機能訓練など、感心させられながら、興味深く読みました。

ロータリーの友 地区代表委員 **一 瓢 秀 次**
(大阪北RC)

- 友愛の広場で“会員の白寿の祝い”や“92歳のレジェンド”の投稿記事に触れた後に、卓話の泉のコーナーで、“認知症は怖くない”の中で、“ロータリー活動そのものが認知症予防の実践と言えます”というメッセージを読むと「ホンマやな～」とガッテンしてしまいます。

8月号では、

- 普段のロータリー活動では、あまり感知することのない規定審議委員会の内容や、人頭分担金に関する投稿など、時によれば、今更聞けないロータリーについて知っておくべき記事も掲載されていて、恥をかかなくて済むかも知れません。また、国内外で行われている様々な奉仕活動も紹介されていて、これなら我がクラブも取り上げて欲しいということになるかも知れません。読んで、ガッテンしたら、是非、ご自身も投稿してみてください。



意義ある業績賞について (The Significant Achievement Award)

意義ある業績賞委員会 委員長

立野純三

(大阪RC)

委員

福家 宏 泉 博朗

(八尾中央RC)

(大阪帝塚山RC)

ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、RI会長から「意義ある業績賞」が授与されます。

「意義ある業績賞」の目的は、地域社会の問題やニーズに取り込んだクラブ活動を表彰することによって、新しいプロジェクトの実施をすべてのクラブに奨励し、模範的なクラブ活動の重要性に対する意義を高めることです。

本賞は1地区につき、1つのクラブだけが受賞対象となります。つまり地区レベルでの競争となります。応募のあったクラブからの申請を厳正に審査し、ただ1つのクラブを厳正に選び出すために、地区ガバナーが標題の地区委員会委員を設置し、これを地区内に発表することが奨励されています。

■選考基準

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより実施された1件のプロジェクトのみです。またRIに推薦できるのは1地区につき1クラブのみです。既に本賞を受賞したことのあるプロジェクトには資格がありません。

RI意義ある業績賞に推薦するプロジェクトを選出する前に、以下の選考基準を満たしているかどうかを確認する必要があります。

- 地元地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むものであること(如何に意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格はありません)。
- 資金援助のみではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接活動に参加する。
- クラブの規模と利用可能なリソースに釣り合ったものである。
- 地域社会においてロータリーのイメージ向上に役立つものであること。
- 他のRCが模倣できるものであること。
- 本賞が授与されるロータリー年度に実施されたもの

である(ただし、現ロータリー年度に開始されたものである必要はなく、現年度中に既に完了したのもでもよい)

- 単一RCによって実施されたものであること。

■推奨推薦手続

以下は意義ある業績賞を選考するにあたっての推奨選考手続です。

- 8月1日までに、本賞への応募の受理、および審査を行う地区選考委員会を地区ガバナーが選任し、告示する。地区ガバナーは、この委員会の職務上の委員となる。
- 地区ガバナーは、その月信で、選考基準(前項参照)とともに、この委員会に関する発表を行い、申請書を委員会委員長が受理する締切日を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手出来るようにする。
- 地区選考委員会は、2月10日(金)までに会合を開き、5つのプロジェクトまでを候補プロジェクトとして選び、2月28日(火)までに届くように地区ガバナーに提出する。
- 地区選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上、1つのプロジェクトを選定する。
- 地区ガバナーは、推薦するプロジェクトを必要な書類と共に3月15日(水)までにRI世界本部に提出する。
- 提出締切日までに国際ロータリーが受理した推薦書式は、RI選考委員会で審査される。締切日を過ぎて受理された推薦書式は、審査の対象とはならない。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2017年1月31日(火)とします。RIに提出後、正式決定されると認定状が送付されます。

その後、例年通りガバナーが地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰いたします。



第1回 クラブ国際奉仕委員長会議 報告

国際奉仕委員会 委員長

木田昌宏

(吹田西RC)

2016年7月30日(土) 14時～16時、大阪薬業年金会館にて開催いたしました。松本ガバナーを始めとする地区役員の方々、各クラブ国際奉仕委員長約100名の方々にご参加いただきました。

松本ガバナーより開会のご挨拶

本日の講演者である「ヤヒヤ君とロータリーとの係わり」のお話と「ロータリー財団100周年に向けての奉仕事業を行いましよう」と呼びかけられました。

国際奉仕委員長報告 木田昌宏

「今年度の国際奉仕について」ということで、各クラブ国際奉仕のプロジェクトに必要な疑問点や問題点などの相談、そして、卓話等での事業推進等を行います。また「財団100周年でのアトランタ世界大会」のお誘いを積極的に推進するなど今年度地区国際奉仕委員会の指針を話しました。

地区ロータリー財団委員会 宮里唯子委員長 講演

【国際奉仕活動のための財団補助金セミナー】

人道奉仕のためのグローバル補助金の申請ステージ]として、ご講演をいただきました。今年度からの変更点等をよりわかりやすく具体的にお話をいただきました。クラブ国際奉仕委員長会議でのたいへん重要な講演をいただけ感謝いたしております。

ヤヒヤ・アルマスリ様 (2014-15年度の米山奨学生) と同国の友人シャーディ・アルハルブーニ様 講演

「シリアの現状と国際奉仕」をテーマとし、タイムリーな内容を盛り込みながら、平和と紛争予防/紛争解決のヒントとなるようを講演いただきました。

地区国際奉仕委員会 泉 光典委員 講演

ソウルで行われた国際大会報告と次回行われるアトランタ大会のご案内をさせていただきました。

片山ガバナーエレクトの講評とご挨拶

最後に講評として、各クラブに国際奉仕活動において補助金の使う計画を立てるよう促していただきまして閉会となりました。





大学等／地区米山奨学委員会 意見交換会プログラム 報告

米山奨学委員会 委員 **清水久博**
(大阪南RC)

2016年7月15日(金)14時よりサニーストンホテル江坂5階「梅の間」において、地区米山委員会と大学及び専門学校との意見交換会を開催しました。

当日は、次年度の奨学生候補者の推薦をお願いする予定の大学19校と専門学校など2校で奨学金事務を担当されている方々、総計27名に参加いただきました。

田中副委員長司会のもと出席者の紹介を行い、古城委員長が挨拶に引き続き、パワーポイントを併用しながら、民間最大の奨学事業（今年度は50か国751名）を行っているロータリー米山奨学会の紹介、現状の国別の奨学生の人数と国籍バランスを考慮した選考の考え方、ロータリーがどのような学生を求めているか、また米山奨学生のOB組織である米山学友会の紹介や活動内容、ロータリークラブとの係わり等を、映像を交えながら学校関係者に説明しました。特に選考基準については、学力や研究内容も考慮はするが、「ロータリアンと積極的に交流を持てるかどうか」、「将来ロータリアンとなって、共にロータリー活動を行う資質があるかどうか」「将来自国に帰っても日本と自国との架け橋となりうる人材であるかどうか」などの事項に重きを置いて選考している旨を説明しました。また、実際に米山奨学生出身者が自国に帰ってから、あるいは日本に留まってロータリアンとなって活躍している事例も多くあることを紹介しました。

その後、石井委員の進行のもと出席者で意見交換を行いました。参加校からは、事前のアンケートにも書いてもらいましたが、自校の留学生の現況や、現在行っ

ている推薦者の募集方法及び選考方法、学校が抱えている問題点やロータリーに対しての意見、質問等の発表をしていただきました。委員会側からは、日本語を話せない留学生に対する対応等、学校側の意見や質問に対する応答を行いました。地区米山委員から、過去の面接での良かった点、残念だった点の事例を示し、次回の選考に活用していただくようお願いをしました。

閉会の挨拶として田中副委員長より、地区米山奨学委員会の選考時の配点や押さえておくべきポイント等、選考対策のアドバイスをを行いました。

今回の意見交換会を通じ、学校関係者にロータリーが求める学生像の理解をより深めていただき閉会しました。

参加者：地区代表幹事 浜田晋、委員長 古城紀雄、副委員長 田中隆弥、委員 石井博章、岡部倫正、鹿浦英毅、堀 隆、久保幸一、生駒伸夫、廣瀬彰久、清水久博
参加校：大阪大学、大阪教育大学、大阪市立大学、立命館大学、大阪経済大学、大阪経済法科大学、大阪産業大学、大阪商業大学、大阪電気通信大学、追手門学院大学、関西大学、関西医科大学、関西外国語大学、近畿大学、相愛大学、摂南大学、大阪国際大学、大阪成蹊大学、滋慶医療科学大学院大学、大阪コミュニケーションアート専門学校、大阪日本語教育センター





RACの地区献血活動をサポートする

社会奉仕委員会 委員長

小林 知義

(大阪ユニバーサルシティ RC)

毎年恒例のローターアクトを中心とした、地区の献血活動が7月23日猛暑の中で実施されました。インターアクト・地区社会奉仕委員会などロータリーファミリーが結集して、昨年に続き、なんば・大日・千里中央・くずは・京橋の5会場で呼びかけを行いました。当日は、松本ガバナーも朝早くから駆けつけられて、暑い中、全会場を激励に廻られました。

年2回の開催で600名からの献血をという、昨年度よりもかなり高い目標を掲げてスタートしました。午前中の状況ではちょっと厳しいかなと思われましたが、追い込みに入り、結果は受付者409名、採血者数311名という素晴らしい結果となりました。

各会場に来て、呼びかけのお手伝いや献血に協力して頂きましたロータリアンの皆様には、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

尚、次回の地区献血は、来年の2月26日に実施する予定となっていますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

最後に、RACからの要望を受け、地区社会奉仕委員会の予算から贈呈させて貰った、歯車マークの入ったローターアクトのノボリが、どの会場でもハタめいているのを見て、この地区献血がロータリーファミリーによる社会奉仕活動であるという事を、今回はしっかり広報できたのではないかと感じました。





2016-17年度のための 地区研修・協議会 会計報告

地区研修・協議会 実行委員長 **河田 一彦**

(大阪北RC)

会計 **河野 眞一郎**

(大阪北RC)

収入の部

内 容	収入額
10名以下のクラブ @30,000× 1RC	30,000
29名以下のクラブ @90,000×25RC	2,250,000
30名以上のクラブ @110,000×55RC	6,050,000
利 息	16
合 計	8,330,016

開催日：2016年4月9日(土)

会 場：大阪国際会議場

ホストクラブ：大阪北RC

支出の部

項 目	内 訳	金 額	内 訳
会場費	会 場	2,417,864	大阪国際会議場・グラントック会場利用料
	看板その他	958,716	当日サイン案内板・垂れ幕ほか
	音響・照明・備品など	1,319,952	大阪国際会議場 音響・照明・備品
	当日飲物	245,101	当日飲料ほか
	小 計	4,941,633	
会合費	室料など	81,240	3/23 事前会議
	小 計	81,240	
印刷費	プログラム	496,800	当日配布用
	資料その他	71,280	部門別資料、アテンダンスカードほか
	小 計	568,080	
記録費	記録	553,300	作成費一式 (DVD・写真・音声)
	小 計	553,300	
謝礼金	講師・ピアノ	243,940	講師・ピアニスト謝礼
	小 計	243,940	
人件費	給与等	1,000,000	
	小 計	1,000,000	
雑 費	その他費用	7,020	振込手数料
		6,970	通信費 (宅急便送料)
		103,670	消耗品費 (資料コピー代金)
		27,200	損害保険料
	小 計	144,860	
合 計		7,533,053	

収入合計	8,330,016
支出合計	7,533,053
差 額	796,963



米国職業訓練チーム (VTT) の来訪報告

VTT委員長 **萬年成泰**
(千里RC)

当千里RCは、国立循環器病研究センターの福田真弓医師を米国ボストン市のハーバード大学医学部に国際奨学生として派遣したが、今回そのホストとなった第7930地区からVTTを派遣したいとの申し出があった。

適用重点分野は、基本的教育と識字率の向上である。米国では、黒人貧困家庭や密入国者の家庭の子弟の多くが不登校になり読み書きを学ぶ意欲を失っているが、彼らが音楽や演劇が大好きであればそれらを通じて自然に教育する方法をチームは開発し成功しているとのことであった。

義務教育がある日本では、その問題はないと思われたので、一旦は断ろうと考えた。しかし、近藤雅臣PGによれば、日本でもイジメで登校拒否の児童は多くおり、PGの大阪スクールオブミュージック (OSM) は、これらの子供たちを含めたクラスとしてやはり音楽と演劇を通じて教育しているとのことであったので、これならばむしろ良い組み合わせになると考え、受入れに踏み切った。

チームメンバーは、ロータリアンでメディア教育が長く、教育省の審議委員をしているアラン・ミシエルを団長とし、演劇で有名なエマーソン大学の学部長を含む3教授と茨木東RCから同校に国際奨学生として派遣した (今は帰国) 矢野郁氏の5名である。

5月30日は、新谷秀一PGのご厚意で、オーナーである京都伝統工芸大学校を訪問した。同校は、読み書きは普通にできるとしても、神社・仏閣、仏像などの日本

の伝統工芸により興味を持つ子弟を専門家に育てている極めてユニークな学校である。見学時には仏師で人間国宝の方が生徒を教えておられ、VTTチームは、こういう育て方もあるかと感心しきりであった。

5月31日から6月2日はOSM。31日は、双方の音楽、演劇を通じた教育方法の紹介と施設の見学、日程の打ち合わせを行った。1日は、OSMの教官・職員に、VTTの教育法を実習してもらった。2日は、VTTメンバーが生徒達に実習を行った。30名を2組に分け、さらに各5名ずつの3グループに分ける。組ごとに、若い恋人同志と男の母親の今の状況と最後の母親の死などという条件を与えて各グループにその前後の状況を想像させ、ストーリーを作らせパントマイムで演じさせる。

終了後、OSMから、これら生徒の家庭状況を含め様々な背景を把握し、個々に適したきめ細かい教育をおこなっている実態が紹介され、双方にとり極めて意義のあるプログラムになった。

6月3日は大澤徳平2640地区PG所有の堺能楽会館を訪問した。VTTにとって日本の伝統芸能である能・狂言の幽明を分たぬ世界・精神等が学べ、今後の教育に大変参考になったとのことである。





地区学友委員会 活動計画

地区学友委員会 委員長

溝畑 正信

(東大阪東RC)

国際ロータリーでは世界各地の地区に対して、過去に地区の青少年関連事業 (RYLA・RAC・IAC・青少年交換・財団奨学生・GSE・米山奨学) 参加者による「ロータリー学友の会」を発足させ、機会あるごとにロータリークラブの活動に参加頂き、「奉仕の精神」を持って、社会で活躍して頂けるように要請しています。

国際ロータリー第2660地区では、昨年12月5日、地区学友会設立レセプションが開催されました。今年度、設置され2年目となる地区学友委員会は下記のとおり活動を展開していく予定です。

1. 2660地区ロータリー学友の組織化、学友名簿の作成をはかります。

クラブの皆様には、各部門のロータリー学友に是非ともこの2660地区ロータリー学友会への入会をお勧め下さい。メンバーの紹介をお願いいたします。

2. 地区学友委員会開催にあたっては、ガバナー、代表幹事、ロータリー財団委員長、米山奨学委員長、青少年交換委員長、ローターアクト委員長、インターアクト委員長、青少年活動委員長、ロータリー学友委員会委員ならびに、学友コアメンバーとともに協議し、ロータリー学友の活動 (例会卓話や各委員会行事、IM単位での共同奉仕活動など) 推進を図ります。

3. ロータリー学友会員は、次のロータリープログラムの元参加者が会員となる資格を有します。

国際親善奨学生、研究グループ交換 (GSE) チームメンバーとチームリーダー、ロータリー平和フェロー、グローバル補助金による奨学生、グローバル補助金による職業研修チーム (VTT) のメンバー、地区補助金の受領者、青少年交換プログラム、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー米山記念奨学生。

4. 2660地区学友会設立総会の開催をします。これは地区大会終了後に計画しています。また地区ロータリー学友会をRIに加盟申請します。

5. ロータリー活動の参加経験がある学友は、ロータリーにとっての有力な入会候補者となるだけでなく、クラブや地区の行事における講演者、プロジェクトの参加者、財団への寄付者として、ロータリーの活動や奉仕をサポートできます。近い将来、幅広いRotary学友を中心にした新クラブの設立を目指しています。

ロータリー会員の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2016年9月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 1 RC

■ 新クラブ設立

- ・第2620地区(第2ゾーン)に甲斐の郷ロータリークラブが6月27日に結成されました。
- ・第2680地区(第3ゾーン)に神戸モーニングロータリークラブが6月7日に結成されました。
- ・第2830地区(第1ゾーン)に八戸西ロータリークラブが7月20日に結成されました。八戸西RCは八戸中央西ロータリー衛星クラブを経て、日本で初めて承認されたケースです。
- ・第2750地区(第2ゾーン)に東京大井イブニングロータリー衛星クラブが7月2日に結成されました。スポンサークラブは東京大井RCです。

■ クラブ合併

2016年7月1日付で第2630地区(第2ゾーン)の不破ロータリークラブと不破の関ロータリークラブが合併しました。合併後は不破ロータリークラブになります。事務所及び連絡先、例会情報は不破RC従来の内容で変更ありません。RI加盟承認日も不破RCの「1970年7月24日」を引き継ぎます。

■ 脱会クラブ

6月30日付で以下のクラブがRI理事会に承認され脱会しました。

- 第2510地区(第1ゾーン)松前RC
- 第2590地区(第2ゾーン)横浜たまRC
- 第2590地区(第2ゾーン)横浜ひまわりRC
- 第2710地区(第3ゾーン)油谷湾RC
- 第2790地区(第1ゾーン)富津RC
- 第2820地区(第1ゾーン)藤代RC

■ クラブの奉仕活動の新聞記事を投稿してください

ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)は昨年10月から①「奉仕プロジェクトを考えるヒントの提供」②「広報の仕方」に関する情報提供機能を構築しています。本年度も引き続きクラブや地区が実施した奉仕活動が新聞に掲載されましたら「BOX」への投稿をお願いします。詳しくは地区またはRPICにお尋ねください。

■ クラブ数 会員数

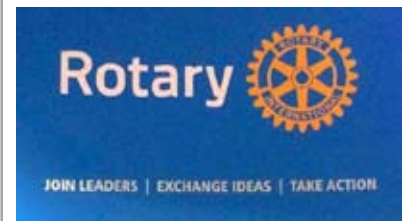
Zone 1	830	28,430
Zone 2	651	27,909
Zone 3	793	32,585
合計	2,274	88,924

(2016年8月9日現在のClub Centralのデータです)

■ BOX登録件数

Zone 1	42 件
Zone 2	16 件
Zone 3	80 件

7月末現在 合計 138 件



ロータリーとは何かを説明するには写真にある3つのフレーズを使うと一貫性があり、明確に表現できます。様々な「リーダーが集まり」「アイデアを広げ」社会のために「行動する」



会員候補者向け資料: 自分にできること 今日から始めよう (資料番号:001)

ロータリークラブにとって会員増強は最も重要な取り組みの一つです。今現在、十分な会員数に恵まれているクラブであっても時間の経過と共に会員も高齢化して行くのは当然のことです。したがって、会員増強はこれからのクラブを担う若い会員を少しずつ補強して、クラブのDNAを継承してもらわなければなりません。もちろん、新会員が入会することでアイデアが広がる可能性があります。新会員は活動する原動力になる可能性もあります。つまり会員増強は「活力あるクラブ作り」と言えるでしょう。

ロータリーの創設当時とは異なり、奉仕をする団体は数多く存在します。私たちがロータリアンとして相応しい入会候補者を選定したとしても、候補者がロータリーと他の団体との違いを理解してロータリーに興味を持っていたらなければ入会に結びつく機会を失うこととなります。違いを理解してもらう方法の一つとしてRIに入会候補者用の新しいパンフレット「自分にできること 今日からはじめよう」が用意されています。このパンフレットには、ロータリーの活動内容や他団体との違いが紹介されています。My ROTARYからPDFファイルをダウンロードするか、オンラインショップや国際ロータリー日本事務局で入手が可能です。(Zone1RC 酒井正人)



米山記念館便り 出生、幼年期

シリーズ① 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、慶応4年(明治元年・1868年)2月4日東京芝に生まれました。梅吉4歳の時に父竹造の死去に伴い家族は静岡県三島に移り住みます。

梅吉は、7歳頃から駿東郡長泉村の映雪舎に学び、その頃から成績優秀で瞩目され、11歳の時に米山家から養子縁組の話が持ち込まれました。13歳で校長・江原素六の沼津中学に通い出すと、それまでの漢学に加え、蘭学、西洋文化など新しい学問に触れ知識欲がさらに膨らんでいきます。15歳で沼津中学を退学し単身上京、銀座の江南学校に入り、新たな未来に向かって歩み始めました。



米山梅吉15.6歳頃。
壁に半紙で「有一志」の文字。

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをうかがい上げさせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩等、趣味の人米山の文藻も掲載しています。

秋季例祭 | 平成28年9月24日(土) 午後2時～ 式典/講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館
登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

〔開館時間〕午前10時～午後4時
〔休館日〕月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)





「ロータリーの友」誌 9月号推奨記事のご紹介

ロータリーの友 地区委員 **一瓢 秀次**
(大阪北RC)

【9月号 横組書記事より】

- P.3 無敵の組み合わせ…1917年夏、アメリカが第一次世界大戦に参戦してわずか数カ月後、多くのロータリアンが中止すべきだと思える中、ポール・ハリスの提案で、アトランタで世界大会が開催された。
- P.8 ロータリー雑誌の仲間たち…表紙にお国柄が感じられる。
日本の発行部数95,500はインドに次いで2位。
- P.27 10月24日は「世界ポリオデー」…クラブや地区で予定しているイベントや活動をお知らせ下さい。
- P.32 ロータリー希望の風奨学金…東日本大震災青少年向けの奨学金、意外と知られてないのでは？
- P.40-41 日本のロータリー100周年に備えよう…日本のロータリー100周年委員会 (2016-17)
※3. 組織連携特別委員会 立野純三 (第2660地区PG)
※元RI理事・諮問委員会 菅生浩三、近藤雅臣
- P.51 「パズル de ロータリー」(6月号) 高見初子 (大阪天王寺RC)、藤井武治 (大阪リバーサイドRC)

【9月号 縦組書記事より】

- P.4 社会になじむことが難しい若者支援
「ひきこもり」の実情や解決の方法が良く理解できた。引きこもりの人の家族が相談に行っ
て一番役に立ったのが「親の会」一番役に立たなかったのが「学校の先生」という点や、「ニート」
では専門家や関係機関に相談したくないが66%、親身なって聞いてくれる人ならば相談
したい32%といった点に、こういった問題の解決のヒントを感じた。
- P.16 奥深い「4つのテスト」
4つのテスト (The Four-Way Test)は、単に4種類の判断基準と理解していたが、four-way
には十字路という意味があり、人生の岐路に立った時の道標という意味もあるという点に、
4つのテストの奥深さを知った。
- P.17 死にざま、生きざま…「財を遺すは下、事業を遺すは中、人を遺すは上なり」(後藤新平) その
通りだが、難しい。
- P.19 キラキラネーム…フリガナがないと殆ど読めない。最後に徒然草より「何事にも珍しきを求
め、異説を好むは、浅才の人の必ずある事なりぞ」と締めているのが痛烈。
- P.20-21 ロータリー柳壇
大阪西RC 鴨谷瑠美子、豊中RC 関谷洋子、大阪東淀ちやまちRC 小坂克彦
- P.31 ふれあい広場 地元へのプレゼント 池田くれはRC

貴クラブの活動のヒントに成ると思います。ぜひご覧ください。
また、貴クラブの活動の様子を「ロータリーの友」へご投稿お願いいたします。
今年度1年間毎月発信してまいります。よろしくお願いいたします。



文庫通信 (347号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約24,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーについて

- ◎ロータリーの本質とは — アンケート回答 1969 7p
- ◎ロータリーでいう職業奉仕 神守源一郎 D.358 1972 57p
- ◎ロータリーでいう職業奉仕 神守源一郎 京都東RC 1983 18p
- ◎ロータリーの綱領の変遷と『奉仕の理想』 先名正四 1989 4p
- ◎ロータリーの立場 近藤正夫 1974 3p
- ◎大乱亥歳を顧みてロータリーを考える (フォーラム記録) 佐藤千寿 関西ロータリー研究会 1996 31p
- ◎21世紀のロータリー 堀場雅夫 関西ロータリー研究会 1996 71p
- ◎世界のロータリー 入江直祐 1981 8p
- ◎デンバー大会の焦点 RI-RIBI問題 宮脇 富 1966 1P

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日



お知らせ

敬 弔 ー謹んでご冥福をお祈り申し上げますー

中西 藤和 会員 (大阪梅田RC)

2016年8月1日逝去 (享年82歳)
会長、理事、会計、国際奉仕委員長、職業奉仕委員長、R情報・広報委員長
米山功労者 (マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

出田 和久 会員 (大阪東淀ちややまちRC)

2016年8月23日逝去 (享年49歳)
ポール・ハリス・フェロー

東大阪RC

メールアドレス変更

rcmail@higashiosaka-rc.jp
現行メールアドレスは10月末日に不着となります。
新規メールアドレスへの変更をお願いいたします。

大阪心斎橋RC

ビジターフィー変更

軽食日は¥3,500 (2016年9月より)
※「最終例会日は¥3,500」から変更となります。

大阪みおつくしRC

例会場変更

「オ・セイリュウ」 大阪市中央区東心斎橋1-7-12
(2016年9月より)
第1、第3はビジターフィー ¥3,000

公式名簿に関する変更について

毎年8月頃に各クラブに1部ずつ配布されておりました「国際ロータリーの公式名簿」ですが、2016-17年度より現物 (CD/冊子) での無償提供が無くなります。
PDF形式の完全版公式名簿 (英語) は、My ROTARYのアカウントを利用してダウンロードできるようになります。

ダウンロードは「リソース&参考資料」からできます。
<https://www.rotary.org/myrotary/ja/member-center/resources-reference>

このご案内に関しては下記ご参照ください。
<https://www.rotary.org/myrotary/ja/news-media/changes-official-directory>



月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 松本 進也 (大阪北RC)
- 地区代表幹事 浜田 晋 (大阪北RC)
- 地区副代表幹事 田中 真人 (大阪北RC)
大野 康裕 (大阪北RC)
- 担当地区幹事 田中 実 (大阪北RC)
小原 楠緒 (大阪北RC)
- 事務局員 船橋美紗子

2016-17年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

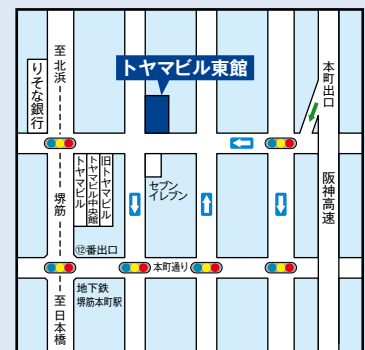
●事務局スタッフ

ガバナー 松本 進也
地区代表幹事 浜田 晋
地区副代表幹事 田中 真人
大野 康裕
事務局員 栗正 久美
事務局員 井上 望美
加茂 春日
船橋 美紗子
杉本 亜鶴巳

所在地 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階

TEL (06) 6264-2660
FAX (06) 6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp
ホームページ <http://www.ri2660.gr.jp/>
勤務時間 9:30~18:00
休日 土曜、日曜、祝日

年未年始 2016年12月29日(木)~2017年1月4日(水)



ガバナー事務所にて会議室(最多36名)を併設しております。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp